

今日のトピック

S&Pがブラジル国債を「投機的」に格下げ

ポイント1 予想より早い格下げ

さらに格下げの可能性が残る

- 大手格付け会社S&Pは9日、ブラジル国債の格付けを1段階引き下げBB+にすると発表しました。格付け見通しは引き続き「弱含み」としました。
- 同社は7月に、財政緊縮の進展に、政治的、経済的リスクが高まったとして、格付けの見通しを「弱含み」に引き下げていました。市場ではいずれ格下げは避けられないとの見方が支配的でしたが、見通しの引き下げから2カ月以内の格下げは、予想より早いタイミングとなりました。

【国債格付けと格付け見通し】

	格付け	格付け見通し
S&P	BB+	弱含み
ムーディーズ	Baa3 (BBB-に相当)	安定的

今回BBB-から
1段階格下げ

(注) データは2015年9月9日。
外貨建て長期債に対する格付け。

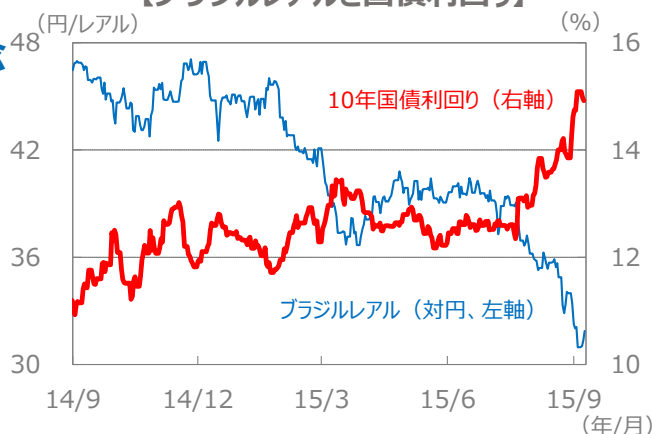
(出所) Bloomberg L.P. のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 3年連続の財政赤字を懸念

抜本的な財政再建策が不足

- 今回の格下げは、2014年から3年連続の財政収支の赤字（利払いを除くプライマリー収支、以下同様）が確実にになったことが主な背景と見られます。
- 政府は8月31日に2016年予算案を議会に提出、同年の財政収支目標はGDP比▲0.5%としました。S&Pは、抜本的な財政再建策が不足しており、何らかの追加措置が無ければ目標達成も困難と見ています。

【ブラジルレアルと国債利回り】



(注) データは2014年9月1日～2015年9月9日。

(出所) Bloomberg L.P. のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開

財政再建の積極化が債券・為替市場安定のカギ

- ムーディーズは、ブラジル国債をBaa3（BBB-に相当）、見通しを「安定的」とし、投資適格級を維持しています。当面は、国債やレアルは不安定な動きから落ち着きどころを探る展開になりそうです。
- 財政再建を進めるレビ財務相に対する与党内の支持は、低下している模様です。ルセフ大統領がこれまでと同様に同相を支え、財政再建の積極化を示すことが、市場の安定に必要なと思われます。

ここも チェック!

2015年 9月10日 「財政再建」は正念場（ブラジル）

2015年 9月 3日 ブラジル中銀、利上げを停止

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。